

巻 頭 言

東日本大震災、震災に伴う福島原発事故が発生して一年が経過しております。被災地が着実に復興し、被災された皆様が元の生活を取り戻されますよう、心よりお祈り申し上げます。

公立大学協会図書館協議会は、より良い教育・研究支援を最終目的として、大学図書館を取り巻く諸課題を、相互の連携を深めて解決するための情報交換の場として1955年に設立されました。平成24年3月現在で、加盟館は80館となっています(平成23年度には1館増)。

大学図書館の役割としては、言うまでもなく教育・研究支援のために、学術情報基盤の整備、新たなサービスの展開などが挙げられますが、公立大学の図書館の役割には、地域社会、広くは社会への貢献もあります。平成23年度の本協議会では、定例的なものの他に、教育・研究支援、社会貢献、及び協議会の運営面で、次のような事柄や活動を行って参りました。

(1) コンソーシアムの統合

本協議会と私立大学図書館協議会から構成される公私立大学図書館コンソーシアム(PULC)には、5校の新規加入により60の公立大学が加入することとなりました。さらに平成23年4月からは、国立大学図書館協会コンソーシアムとPULCを統合して、大学図書館コンソーシアム(JUSTICE)が発足されてコンソーシアムが一本化することになりました。このことは、加盟館と電子ジャーナル版元との交渉が、今後より有利な条件で行える可能性を含んでいます。

(2) 東日本大震災の支援

本協議会としても被災地へ支援をしたい、との思いから、平成23年6月の総会において、資産の一部100万円を資金にした図書に関わる支援を提案いたしました。具体的な支援方法については全加盟館の皆さまからご意見をいただいて、拡大役員館と被災地域の加盟館をメンバーとした、平成23年11月の拡大役員会で結論を出すこととし、本提案は了承されました。

その結果、(社)全国学校図書館協議会を通じた「被災地の学校図書館への書籍の提供」、宮城大学による「震災復興図書館(移動図書館)の設立」に対する支援を行っております。

(3) 新ホームページ(HP)の構築

本協議会がHPによる情報公開で利用していた、情報学研究所の協会情報発信サービス(無料)が平成23年度末で終了となるため、本協議会のHPを業者委託しています。民間のレンタルサーバに移行し、維持管理は、HP委員長館の大阪市立大学様にお願いしております。

また、平成23年6月の事務長会では、公立大学協会事務局長の中田晃様にご講演いただく形で学習会を試行しましたが、公立大学協会からの情報は有用であり、今後もこのような学習会が開催されることを望んでおります。

皆様のご協力により、一年間の任務を終えることができますこと、心よりお礼申し上げます。

平成24年3月

公立大学協会図書館協議会

会 長 兵庫県立大学学術総合情報センター図書部会長

秋 吉 一 郎